発行：　大村市少年センター　大村市玖島1丁目17番地10(陸上競技場横)　TEL54－6405

# 少年センターだより

令和５年３・４月号（第423号）

毎月１日「少年の日」　☆育て少年心豊かにたくましく！第３日曜日「家庭の日」　☆咲かせよう明るい会話，家族

## 第４１回大村市青少年健全育成研究大会

２月２６日（日曜日）に「第４１回大村市青少年健全育成研究大会」が行われました。２年ぶりの開催で、感染対策と規模を縮小しての開催となりました。

【少年の意見発表者】

| 発表者 | 学校・学年 | 題　　名 |
|---|---|---|
| 原　優心さん | 鈴田小６年 | 人類の努力 |
| 中野　新汰さん | 三城小６年 | 大好きな海を守りたい |
| 石原　四つ葉さん | 放虎原小６年 | 生きる |
| 平松　柚月さん | 福重小６年 | 将来の夢に向かって |
| 一柳　雄人さん | 玖島中２年 | 障がいのある人との関わり方 |
| 喜多　陽翔さん | 大村中２年 | 中学校生活で学んだこと |
| 津田　千颯さん | 郡中２年 | 平和 |

目まぐるしい時代の変化の中で生活している子どもたちが、ふだん考えていることを作文にして発表しました。環境問題、世界で起こっている紛争など様々なテーマ発表し、子どもたちの純粋な気持ちが伝わってきました。私たち大人も、子どもの素直な心を大切にできる社会を作っていきたいと思います。

## 非行・事故防止（明るい家庭づくり）ポスター　表彰

小学校低学年　【最優秀賞】

堤　凜子（竹松小学校２年）

小学校高学年　【最優秀賞】

山川　愛菜（中央小学校４年）

中学校　【最優秀賞】

﨑野　七美（大村中学校２年）

おめでとうございます

| 【優秀賞】 | | 【優秀賞】 | | 【優秀賞】 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 田中　ありん | （黒木小学校１年） | 井田　美莉 | （旭が丘小学校５年） | 田口香哩奈 | （郡中学校２年） |
| 米山　侑那 | （中央小学校２年） | 淺井　心愛 | （三浦小学校６年） | 山口　栞菜 | （萱瀬中学校２年） |
| **【佳作】** | | **【佳作】** | | **【佳作】** | |
| 陣野　大和 | （黒木小学校３年） | 堤　　愛子 | （竹松小学校６年） | 小山　蒼磨 | （西大村中学校３年） |
| 田原　優那 | （放虎原小学校１年） | 丸井　詠詩 | （西大村小学校４年） | 中﨑　麻寛 | （桜が原中学校３年） |
| 井森　環奈 | （黒木小学校２年） | 鈴木　明那 | （黒木小学校４年） | 中村　未來 | （玖島中学校１年） |
| 松谷悠一郎 | （東大村小学校３年） | 髙田　壮祐 | （萱瀬小学校５年） | 木村　葉子 | （郡中学校２年） |
| 木原　蒼士 | （大村小学校１年） | 黒田　佳央 | （富の原小学校６年） | 尾原　柚月 | （玖島中学校１年） |
| 志岐　瑠久 | （放虎原小学校３年） | 林田　結月 | （大村小学校５年） | 儀保友梨香 | （西大村中学校１年） |

〈 連載コラム 〉

子どもは親の思うようには動いてくれません。

親は「まだ、〇〇してない。〇〇しなきゃダメ。なんでちゃんと〇〇しないの」と叱ってしまいがちです。でも、これでやる気になる子はいません。それどころか、否定的に叱られることで自己肯定感が持てなくなったり、必要以上に反抗的になったりもします。

しかし、親の言葉のかけ方次第で、子どもはきっと変わるはずです。例えば、

〇　少しレベルを下げて言う
〇　具体的に指示する
〇　していないことを叱るのではなく、まずできていることをほめる
〇　「〇〇ダメ」という否定語を「〇〇するといいよ」という肯定語に変える
〇　啓発し、納得させることで、意欲につなげる
〇　スマホの使い方や交通安全指導など、写真、動画、イラストなどを使って啓発したり、実際の現場で具体的に教えると効果がある

また、子どもには、多くの才能があります。しかし、才能や能力が早い段階で見える場合もありますが、見えないほうが圧倒的に多いのではないでしょうか。

子どもの才能を開花させるには、「適切な食事」「家庭の安定した雰囲気（温かい家庭）」「愛情（適度な）」をベースに、「子どもの自己肯定感を引き上げる言葉」※が大切だといわれます。

※　【承認の言葉】　すごいね！　さすがだね！　いいね！
　　【感心の言葉】　なるほど！　知らなかった！
　　【感謝の言葉】　うれしい！　助かった！　ありがとう！
　　【安心の言葉】　大丈夫！
　　【指摘の言葉】　〇〇（子どもの名前）らしくないね～

いろいろ述べてきましたが、子育てや子どものサポートで最も大切なことは、「傾聴」だと私は思っています。相手の話を全く否定することなく聴き、理解を示し、気持ちをくみ取り、共感し、相手を尊重して聴き続けるのです。すると、相手は「私のことをわかってくれる」「大事にされている」というすごく温かくリラックスした気持ちになり、聞き手を信頼する気持ちが高まっていくはずです。

「否定、批判、反論」「話を遮る、言葉をかぶせる」「別のことに意識が取られている」等は論外です。また、「でもね」「こういう場合はさぁ」「本当にそうかな？」等の切り返しは、「信頼」が一瞬でなくなることもあります。

「傾聴する」ことで、相手は自己理解が進み、自己重要感を高め、より良い人生や、悩みの解決に向けて、必要な行動や変化を生み出すなど、多くの効果が期待できます。相手を理解し、そして、相手が本音を話してくれることで、新しい一面を知ることにつながり、私たちの世界も広がることでしょう。

そう、親や大人の言葉のかけ方一つで、子どもは変わるのです。

〈 ひびK・I 〉

**青少年に関する相談は少年センター（月～金　8:30 ～ 17:15）へ**

☆ 相談電話(ヤングテレフォン)０９５７－４９－５２６３
☆ Ｅメール相談　：kiitekudasai@city.omura.nagasaki.jp